



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2026.09 >

BULLETIN

2026年7月～2027年6月

会 長 樋口 順英
副 会 長 青木 方枝
書 記 村杉 一榮
会 計 小仁 恵子
監 査 柿沼 敬喜
担当主事 熊沢 佳代

国際会長 J・W・エルトヴィク 「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」
アジア太平洋地域会長 ラチャン・マニカーン 「アジア太平洋地域を BM で目覚めさせる」
東日本区理事 山下 真 「挑戦なくして進化なし」
関東東部部長 廣田 光司 「地域奉仕活動と YMCA サービスでクラブを元気に」
クラブ会長 樋口 順英 「若々しく、楽しいクラブライフ」

9月

「神のなさる業を始めから終わりまで見極めていることは許されていない」コヘレトの言葉 第3章11節

*有名な1節、何事にも時があるという意味である。神の定めた時「カイロス」とは、過ぎ去ってから「あの時は」と気づくものである。しかも私たちは、決してそれを見極めることはできない。

2026年 9 月例会

日時: 2026年9月16日(水) 17:30～20:00

～関東東部部長公式訪問～



場所: 東陽町センター

司会: 小仁 恵子メン、受付: 村杉一榮メン

開会点鐘	樋口 会 長
ワイズソング、ワイズの信条唱和	全 員
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会 長
聖句・お祈り・食事	西澤 紘一メン
関東東部部長挨拶	廣田 光司メン
卓話: 「 アフリカの村落給水・衛生事情 」	
卓話者: 小野 健氏(札幌ワイズメンズクラブ会長)	
ニコニコひとこと	全員
ハッピーバースデー	佐野、西澤、早瀬、各メン
各種報告	樋口 会長 ほか
YMCA 報告	熊沢 担当主事
閉会の言葉・点鐘	樋口 会長

2026年9月例会 卓話のご案内

卓 題: **「アフリカの村落給水・衛生事情」**

卓話者: 小野 健氏(札幌ワイズメンズクラブ会長)

- ・わたしたち東京グリーンワイズメンズクラブは、このたびご多忙の合間をぬって札幌ワイズメンズクラブ会長、小野 健 様に卓話をいただくことになりました。
- ・氏は長年アフリカ・ブルキナファソ村落給水施設管理・衛生改善プロジェクト支援やその他アフリカ数か国の給水プロジェクトに携わり、同国の生活環境、水、衛生設備へのアクセス改善などに活躍されています。



【写真真ん中が、小野健氏】

【例会出席率】 在籍:13名 8月出席率8/11 73%

出席:8月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】¥18,500(東京 YMCA 熊本地震支援)

◆2026年8月納涼例会報告

日 時：2026年8月19日(水) 17:00～20:00

場 所：インド料理「ニュープラシダ」浅草店

★★★われらも浅草でインド理解！★★★

出席者：青木、柿沼、熊沢、小仁、佐野、村杉、樋口、目黒

ビジター：春日井明メンとご家族3名(東京ク)、

為我井輝忠メン(多摩スマイル)、

山口直樹、篠原文恵、小原史奈子メン(Wウエスト)

森下恵子さんご夫妻(元川越ク)

▲ 概要

- 当クラブもインドに関心を持とう、先ずは食文化から今回はインド料理でということになりました。



- 昨今は内外に地震、豪雨などによる被害が続く中、複雑な思いでの納涼例会となりましたが、クラブの枠を越えて、インドと浅草に関心を寄せる方々計17名が参加いただき、普段顔を合わせることの少ないメンバーとの楽しい会話ができました。



【写真上】左から山口、佐野、目黒、熊沢、柿沼各メン



【写真上】左から、青木、小仁、各メン、森下様



【写真上】左から樋口、村杉、篠原、小原各メン

- 例会に先立ち、真夏の浅草散策に数人が参加。先ずはアイスクリーム(写真右)で咽を冷やし、村杉メンのガイドにより、コースは地元ならではの巧みさで日陰を選んで仲見世通り、浅草六区通り、五重塔通りを歩き浅草寺本堂、二天門を經由し無事会場に到着。



- 帰りは、「メトロに乗って」(浅田次郎著)の舞台、昭和30年に誕生した日本最古の浅草地下商店街で記念撮影。【写真下】為我井メン



- なお、当日のニコニコファンドは、東京YMCAの熊本地震緊急支援募金とさせていただきます。

▲ハッピーバースデー：目黒メネット、篠原メン(Wウエスト)
(樋口 記)

◆10月例会のご案内

日 時：10月21日(水)17:30～20:00

場 所：東京 YMCA 東陽町センター

報 告：①第40回チャリティーラン報告

②国際大会参加報告(青木方枝メン)

(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 9月 9日(水) 9月第二例会(Zoom) 15:00～
- 2) 9月10日～13日 国際大会(ペナン)
- 3) 9月16日(水) 9月第一例会(東陽町) 17:30～
- 4) 9月26日(土) 第40回インタナショナル・チャリティーラン
- 5) 10月7日(水) 神田川船の会打合せ(秋葉原15～4B)
- 6) 10月10日(土) 第94回神田川船の会(浅草橋)
- 7) 10月14日(水) 10月第二例会(Zoom) 15:00～
- 8) 10月21日(水) 10月第一例会(東陽町) 17:30～

(樋口 記)

26/27年度会費振込のおねがい

お世話様です。振込口座は下記をお願いいたします。

みずほ銀行 深川支店 #446 (普) 3064402

名義 トウキョウグリーンワイズメンズクラブ

「カフェーの帰り道」(174 回直木賞受賞作品)
(島津 輝 著・東京創元社 2025 年)



大正、昭和の戦前から戦後に亘る(関東大震災から敗戦後まで日本の2度の壊滅の隙間を埋め、かつ大戦争にのめりこむ暗黒の時代)半世紀、上野界限に位置する鄙びたカフェー「西行」があった。それを舞台に人情に富んだ市民たちと、当時まだ珍しかったモダンガールなるインテリ

「女給」を雇い、客たちが彼女らとたわいのない会話が楽しめる交わりの場を提供していたのは、もう一人の主人公、店主菊池であった。何ともやさしい心温まるストーリー展開に読み終わってみるとさわやかな読後感として残る。

カフェー西行の開店以来、名称を喫茶西行そして死後に純喫茶西行と名が変わった。菊池の鷹揚な人柄も手伝って現在まで生き抜いてきたのであろう。開業当時の美登里、高女卒のセイ、美人で看板娘であったタイ子、自称華族を自慢する園子、戦後の女給、幾子と個性豊かな女性が生き生きとして登場する。5人の女性とそれぞれに物語が展開してゆく。完全なオムニバス方式でなく、5人が偶然に絡み恵あったことが面白い。

冒頭で、国語教師の俣野の妻、稲子が登場する。彼女は、夫の浮気を疑い、美人の誉れ高いタイ子が務めているカフェー西行を訪れる。読み進むと、タイ子は、幼少期に学校に行けず文字を学ぶ機会がなかった。それをカフェーの常連であった俣野が個人レッスンを買って出ていたのがあった。その後のタイ子のエピソードには胸を打たれる。大工の棟梁であった夫を亡くし、一人息子の豪一を女手一つで育てていた。やがて成人した豪一は、徴兵され大陸へ送られる。唯一のコミュニケーション手段が手紙であった。習った漢字を使って、検閲にも耐える手紙を必死で書く豊子が病気になるように床に臥せるようになった。タイ子は、必死に看病するが、豊子があるとき『ウナギが食べたい』と訴えた。戦時中であり贅沢品が容易に手に入る訳がない。タイ子が菊池にそれを打ち明ける。菊池は、昔貰ったウナギの缶詰を思い出し、それを全部タイ子に渡す。豊子が、およそ期待もしていなかったウナギに接し、涙を流す。タイ子がどれほど苦勞して手に入れたのかが想像できたからである。

この小説では、何気ない日常の些細なエピソードを通して静かに強く反戦を謳っている。豪一からの最後の手紙で大陸からインドネシアを経て太平洋のニューギニアへ転戦するとの知らせが来た。タイ子はそれが1%も生き残れる可能性がないことを知らなかった。豪一が無事に日本に帰れたかどうかは、是非原本を読んで頂きたい。(西澤 記)

1. 熊本で7月28日に大規模な地震が発生し、緊急支援募金を全国YMCAで一斉に開始した。東京YMCAではHPやメールマガジンで募金協力を呼びかけている他、街頭募金を実施した。

【街頭募金報告】

・8月4日～18日までに、都内5か所で実施(高田馬場、東雲、新宿南口、東陽町、東京駅オアゾ前)

・参加延べ人数:123人

・募金総額:436,305円

●8月までに寄せられた web 募金額:約532万円

2. 熊本地震の復興支援活動を検討するため、8月4日から日本YMCA同盟職員と東京YMCAの職員(村上祐介氏(会員部))が熊本市内を中心に被災地の視察を行った。また、熊本YMCAは八代市より委託を受け、八代市内で2つの避難所運営を8月17日より開始した。これに協力し、全国YMCAのスタッフが交替で避難所の運営サポートを行っている。東京YMCAからも、8月末までに7人を、その後も12月末頃まで継続して交替でスタッフを派遣する。

3. 今後の主な行事予定

・「**関東大震災第103周年記念追悼合同早天礼拝**」
9月1日(在日本韓国YMCA 9階国際ホール)
説教:金 性済牧師(東京韓国YMCA理事、日本キリスト教協議会元総幹事)

・「**第40回インターナショナル・チャリティーラン**」
駅伝大会:9月26日(都立木場公園)
オンラインウォーキング大会:11月下旬～12月上旬
(全国YMCA共通)

・「**第2回ユニバーサルフェスタ**」10月3日、4日(山中湖)

・「**第94回神田川船の会**」10月10日

・「**第24回日本YMCA大会**」11月27日～29日
(日本YMCA同盟東山荘)
テーマ:Evolving Together

・「**賛助会年会・アドバイザー会**」11月16日
(アルカディア市ヶ谷)

4. 深 悼

若槻史郎氏(学校法人東京YMCA前理事長・元公益財団法人東京YMCA理事・名誉会員)
8月14日召天 享年82

(クラブ担当主事 熊沢)